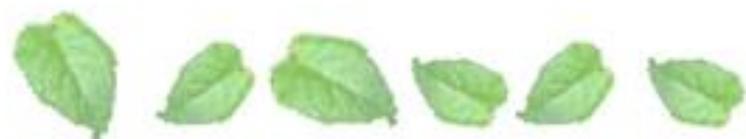




背中の痛みの問題改善 悩み相談編 その1



❖はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1 : 揚げ物で肩や背中、腰の痛みが出る事って?	4
2 : うつ病と肩甲骨から背中の中の痛みは鍼灸で改善できる か?	10
3 : 腰から背中にかけて背骨をボキボキその反動で・・・?	15
4 : 背中や胸の痛みは肺がん?それとも・・・?	21
5 : 風邪で咳がひどくなり背中の中の痛みが…?	26
6 : 突然脇、肋骨周り、背中が痛み原因不明.....	31
7 : 左背部や左のお腹の痛みが2年も続き・・・? ...	39
8 : 左の肩甲骨の下の痛みの原因は残業続きで…? ...	52
9 : 左肩の痛みで腕が上がらない原因は飲酒後のラーメ ン?	57
10 : 背中が腫れているのかむくみのか原因は?	63

❖ 1 : 揚げ物で肩や背中、腰の痛みが出る 事って？

今日は、

**取った食事によって、背中や肩、腰などの痛
みを発するかどうか？**

といった内容の、悩み相談が来ました。

詳しい内容は、

——— ここから ———

始めまして相談させていただきます。

二週間前に揚げ物を食べた直後吐き気がして相当はいてしまい、なかなか胃腸の調子が良くならないので内科に行ったらノロウィルスかもしれないと薬を飲みましたが、全然効かずひどくなるばかりです。

それで今肩と背中・腰が非常に凝っているというより痛いのです。

今も胃腸が悪く食欲もなく少し食べたただけでお腹がいっぱいになります。

そんなんでこのところお粥ばかりです。

この症状は肩や背中の中の痛みに関係しているのでしょうか？

関係しているとしたらどこに行けば良いのでしょうか？

お忙しいでしょうがよろしく申し上げます。

—— ここまで ——

悩み相談ありがとうございます。

早速ですが、回答していきますね！

症状としては、揚げ物にあたってから、胃腸の状態が悪くなり、その後、肩や背中、腰などに痛みやこりが出ているようです。

さらに、内科で処方された薬で悪化しているようですね！

これは、完全な食あたりです。

揚げ物で胃が荒れただけであれば、薬で悪化する事はありません。

しかし、肝臓が傷んでいる場合、薬を入れると悪化する場合があります。

そして、肝臓が傷む原因としては、この場合ですと、揚げ物に使われていた油が、原因と考えられます。

肝臓は、身体にとって毒と捉えられるものが、体内へ侵入してきた場合、その毒を解毒する役目があるんです。

この毒が強ければ強いほど、肝臓のダメージが強くなるんですね！

今回は、油が身体にとって毒と身体は捉えたようです。

ところが、油の毒が強すぎて、身体が完敗。

いまだ敗北感から立ち上がれていない状態であると言えるでしょう。

そして、このような状態で、一番お勧めの場所は、漢方専門薬局です。

お近くに、漢方医が開業している病院があればさらに良いですが、なければ、漢方専門薬局へ行きましょう。

もし、漢方薬局がなければ、鍼灸院を探してみてください。

とりあえず、通えそうな範囲にある鍼灸院へ片っ端から電話をかけてみてください。

そして、その電話の対応によって、行くか行かないかを
決めてください。

痛みやこりにしか対応できない鍼灸師が多く存在していま
すので、しっかりと、内臓のケアができる場所を探しま
しょう。

今回の悩み相談は、行き場の相談でしたので、これ辺で終
わりにしますね！

❖ 2：うつ病と肩甲骨から背中の中の痛みは鍼灸で改善できるか？

うつ病と、ストレスによる症状、そして、自律神経失調症って意外な落とし穴が、西洋医学なんです。

何でも治してくれるのが、西洋医学であったのは、もう過去のこと。

現代の人が抱える問題のほとんどが、西洋医学でつまづいてしまう状態になることが多いんです。

今回は、そのような悩み相談です。

内容は、

————— ここから —————

13年以上も続く鬱病療養中です。

何か変わったことや人に対する後左の肩甲骨の裏の上から下あたりに針で突付くような、また虫歯がズキーン、ズキーンとするような痛みが走りそこを揉んだりしてもらおうと左上腕の外側へ映り、やがて下腕の外側へ移動します。

毎日肩甲骨、腕を揉んだりさすったりしてもらっても2、3ヶ月経っても直らない時もあります。

直る時には指先から抜けてゆくようになくなります。

現在家内に毎晩3時間くらいさすってもらっていますがなかなかよくなりません。

鬱病と痛みは関係があると思いますが鍼灸で改善の余地はあるのでしょうか？

————— ここまで —————

この度は、キュアハウスの悩み相談をご利用いただきありがとうございます。

感謝しています。

さて、うつ病と痛みを鍼灸で改善の余地はあるか？

ということですが、単純に答えると、

あります

という答えになります。

ただ、一つ気になる点があります。

それは、背中の中の痛みです。

痛みの種類が、針で刺すような痛みであるということ。

そして、痛みのある場所をいつも揉んでいるということ。

これが、非常に気になります。

いつも同じ場所を揉んでいると、筋肉は固くなりやすくなります。

相当上手に、マッサージをしなければ、確実に固まります。

そして、固まった筋肉は冷えます。

冷えた筋肉は、針で刺されたような痛みを發します。

このようなことから、痛みを取るためのマッサージがどの程度だったか？

この程度問題がキーポイントになるかと思えます。

このような症状だからこそ東洋医学です。

あなたのような症状は、一番受けていただきたい治療法なんです。

❖ 3 : 腰から背中にかけて背骨をボキボキ その反動で・・・？

腰や首を強くひねって、ボキボキ音をさせる人がいます。

このボキボキ、経験すると本当に気持ちいいんですよね！

重だるい感じや、つまっている感じが一瞬でスッキリ！！

だから、つらくなったらまずは鳴らしてみる。

すると、またスッキリする。

だから止められなくなる。

そして、行く末は・・・？

その結果の悩み相談が来ました。

内容は、

————— ここから —————

私は昔から腰痛があり、自ら腰をひねって尾骨の上あたりから肩甲骨のあたりまで、広範囲にボキボキと鳴らすのが癖でした。

腰に悪いものだと知り、鳴らす事は止めていましたが、この間、片足に力を入れて後ろにそる動作をしたとき、バリバリと腰から背中にかけて振動がして、それ以降、次の痛みがあります。

- ・文字を書いたり、キーボードを打ったときに、背中から

肋骨にかけて痛みが伝わる。

- ・姿勢をかえると容易にコキッと音がし、仰向けに寝ると、ボキボキッと背骨に音がします。
- ・歩いていても徐々に、背中が痛くなってきます。

病院での検査（レントゲン・MRI）の異常なし 私の症状について、治療法はありますか。

————— ここまで —————

この度は、キュアハウスの悩み相談をご利用いただきありがとうございます。

感謝しています。

さて、今回の症状ですが、かわいそうな状態ですね！

おそらく、背骨全部がむち打ち状態になってしまっている
のでしょ。う。

まだ、痛みがありますので、痛みが治まるまでは、安静に
するしかないでしょうね！

しかし、安静にしている間に筋力は落ちてしまいます。

落ちた筋力は速攻で復活させないと、背骨の安定が難しく
なります。

背骨が安定しなければ、少しの動きで痛みが出たり、さま
ざまな症状を発する自律神経失調症になってしまう可能性
が高くなります。

それらを回避するためには、

1. 片足閉眼立ち
2. 腕立て伏せキープ

この二つがまず重要な運動となります。

どちらも簡単な運動です。

1. 片足で目を閉じて立つこと片足3分ずつ
2. 腕立て伏せの形を作り、頭のとっぺんからかかとまで一直線になるような形を3分間維持する

これだけです。

基本的にこれらが、簡単にできるようになれば、症状は落ち着いてくるはずです。

治療法に関しては、身体を緩めるような治療は返って逆効果になります。

全身鞭打ちの場合は、背骨の安定が重要ですので、力の弱いところ、靭帯が伸びている関節の修正。

そして、歪んでいる背骨を力強くなった筋肉で誘導修正する。

ここまできたら、最終的に全体のバランスを整える。

これが大事ですね！

まあ、これらをやってくれる治療院があれば、探してみてください。

❖ 4 : 背中や胸の痛みは肺がん？それとも・・・？

背中の中の痛みとガンの関連の相談が来ています。

心臓の裏側に痛みがあり、肺がんを疑っているようですが・・・？

もし同じような悩みがある人は、読み進めてみてください。

相談内容は、

————— ここから —————

2週間くらい前から心臓の裏側にあたる背中の中の痛みが出ています

一月くらい前に病院で診てもらった時は何ともありません
でした

深呼吸をしたり、少し体をひねっても痛みます

そして、2～3日前からは左胸も痛み出しました

職業柄ストレスも大きな原因だと思いますが、肺がんなの
かな…と不安になっています

ただ痰も出たり、していますが、食欲などは普通にありま
す

尿もしっかり出ていますが、少し風邪気味の感じでは
…

年齢も46歳とそれなりの年齢になってきました

病院には行きたいのですが、休むといやな顔をされて、

————— ここまで —————

この度は、キュアハウスの悩み相談をご利用いただきありがとうございます。
ありがとうございます。

さて、今回の悩みですが、背中の中の痛みが肺がんなのでは？
という不安を抱えた方からの相談のようです。

2週間前から、心臓の裏側の背中の中の痛みが出始めたようですが、なぜか1か月前に、何かの症状を、病院で診てもらっているようです。

その結果、異常は診られなかった。

その後、2週間で出てきた背中の中の痛み。

この因果関係は何なのでしょう？

いまいち文面からはわかりません。

ただ、深呼吸や身体を捻ると、痛みが出るということですから、内臓の問題は、それほどなさそうですね！

心臓や肺の問題であれば、このような痛み方はほぼありません。

ですので、問題は、筋肉か？関節か？ということになるろうかと思います。

けれど、一番気にしなければならないのは、もし、喫煙や

睡眠不足というものがあれば、これらが原因となる痛みか
もしれません。

であれば、どちらもご自分で改善できるはずですので、ま
ずは、3か月を目安に、生活改善を試みましょう。

会社を休めず、じっくり治すことができないのであれば、
サロメチールなどを患部に塗っておくだけでも、変化する
かもしれません。

癌が心配であれば、がん検診を受けましょう。

❖ 5 : 風邪で咳がひどくなり背中の中の痛みが … ?

風邪で弱っているときに、咳はどんどんひどくなる。

そんな状態で、今度は背中の中の痛みが！！

座っていても寝ていても痛みが出る背中。

これは、ぎっくり背中？

このような相談が届きました。

相談内容はこちら、

————— ここから —————

はじめまして

先週風邪を引いてしまい

とにかく咳がひどくて

いまだに治りません

柔らかいソファに座ると

右側の背中がすごく凝った様に痛みます

寝ている時は寝返りすると痛んだりします

こういう症状はぎっくり背中なのでしょうか？

治す方法はありますか？

————— ここまで —————

この度は、キュアハウスの悩み相談をご利用いただきありがとうございます。
ありがとうございます。

背中の中の痛みの相談ですね。

まず先に、ぎっくり背中というものに対して、こちらを読んでください。

[ぎっくり背中について](#)

ここでも書いているのですが、ぎっくり背中は、ぎっくり腰同様、急な背中の中の痛みの総称でしかありません。

ですので、病院へ行き、疾患名がつかない急性の背中の中の痛みがぎっくり背中とを考えてください。

ということから、今回の背中の中の痛みを考えていきましょう。

まず、風邪をひきひどい咳をしていたということから、

1. 背中（肋骨で囲われている範囲）の筋肉痛
2. 肋椎関節（肋骨と背骨がつながっている関節）の捻挫及び炎症

のどちらかだと思います。

筋肉痛であれば、咳が完全に収まった後に、深呼吸や腕回しなどを行っていけば、比較的早く改善すると思います。

捻挫や炎症の場合は、冷湿布を貼る必要があります。

ただし、座っているときには、激痛ではなく、こったような痛みのようなので、温湿布での対応でも大丈夫だと思います。

もしくは、このブログによく出てくる、サロメチールやロイヒつぼ膏も効果的ですので、ご利用してみてください。

咳が出ている間は、いつでも炎症が起きる可能性があります。

背中の中の痛みが怖い間は、湿布を貼っておくことで安心感は得られます。

ただし、湿布はカブレを作ってしまう可能性がありますので、その点注意が必要です。

❖ 6 : 突然脇、肋骨周り、背中が痛み原因不明

突然脇から背中に痛みが出始め、腕にまで痛みが出ている。

痛みが出始めてからは、咳まで出るようになった。

どうすればいいのだろうか？

どこで診てもらえばいいのだろうか？

と、苦しそうな悩み相談が来ました。

内容は、

————— ここから —————

昨日から、突然脇、肋骨周り、背中(全部左側)が痛みだし、
時間が経つにつれ痛みが強くなりました。

特に動かすと奥から痛む感じで、一瞬動きを止めてしま
いました。

左腕にまで痛だるい感じがするときもあります。

昨日は痛みが出てから次第に咳も出始めました。

それまで、咳は一切出てないのに、不思議でした。

咳も酷くなり、もともと喘息持ちなので発作様になりまし
た。

現在は、特に左お乳の横側～脇の奥が痛いです。

腕を動かすと特に痛いです。

何なんでしょうか。

病院に行くとしたら、内科ですか。

それとも整形外科ですか。

それとも、東洋医学の病院か、鍼灸院がいいのでしょうか。

シップを貼ったら痛みは和らぎますか。

————— ここまで —————

この度は、キュアハウスの悩み相談をご利用いただきありがとうございます。
ありがとうございます。

さて、今回は、脇の痛みのようにです。

率直に感じたことから質問があります。

甘い物を食べすぎていませんか？

もしくは、

炭水化物を取りすぎていませんか？

このような痛みが出るときには、糖質が絡んでいることが非常に多く、もし、糖質を取りすぎている場合には、どんな治療よりも、糖質を抜くことが先決になります。

糖質とされるものには、

1. 砂糖
2. 果物などの果糖
3. アルコール
4. ごはん、麺、パンなどの炭水化物
5. バナナやイモ類

などなど、日本人が摂りやすいものがたくさんあります。

これらを取りすぎると、血糖値が上がってしまいます。

そのため、血糖値を下げるために、膵臓が働きます。

膵臓を働かせすぎると、膵臓がオーバーヒートを起こします。

すると、膵臓が位置する左脇に熱と痛みを持つことが多く、

左肩や首、腰などに痛みが広がることが多く存在します。

これは、ほとんどの病院や治療院で、原因がわからず、治療にならないことが多いです。

ただ、単純に、肋骨を痛めていたり、神経を痛めてしまっていたりすれば、整形外科でわかります。

肺や膵臓に炎症が強く出ていれば、内科でわかるでしょう。

もしかしたら、腫瘍が見つかるかもしれませんが、これも内科で見つけてくれるはずです。

そして、痛みの特徴（東洋医学の概念）である

滞っているところに痛みがある

ということから、全身のバランスを鍼灸で整えてもらえば、痛みが通常の滞りから起っているのであれば、止まるはず
です。

問題は、膵臓の問題で、今の症状が起きている場合に、病
気までなっていないければ、内科で見過ごされるはず
です。

そして、鍼灸でも膵臓のチェックができない可能性があり
ます。

なぜなら、

学校では教わらない概念

だからです。

しかし、ここまで来て、痛みが全く変化せず、糖質を取り続けているのであれば、そこを改善してください。

それで、治まっていくはずですよ。

できれば、どこかで原因が見つかり、簡単に治っていることを祈ります。

❖ 7 : 左背部や左のお腹の痛みが2年も続き・・・？

最近、何度か公開させていただいているあるパターン。

あなたは、以下の質問に対して、どのような疾患を思い浮かべますか？

相談内容は、

————— ここから —————

約2年ほど前から「左背部」「みぞおち左」「左わき腹」の痛みに悩んでおります。

内科や整形外科でCTやMRI検査など行いましたが、現状で

異常があるのは胃下垂、軽い胃炎くらいで、現在の症状には関係がないといわれました。

鍼灸、漢方薬局などにも通いましたが、良い結果は出ません。

食事は脂ものはほとんどとらず、ご飯、うどん、バナナ、パンなどですませております。

周りからは気のせいだとか言われますが、ネットなどで検索すると「膵臓癌」にヒットするので心配でたまりません。

それがかなりのストレスです。

実際ストレスだけでこの症状が出るのでしょうか？

ほかにこの症状が出る疾患はあるのでしょうか？

————— ここまで —————

この度は、キュアハウスの悩み相談をご利用いただきありがとうございます。
ありがとうございます。

さて、今回は、左上半身の痛みということですか。

この相談内容を読んだ瞬間に理解できた人は、何人いるのでしょうか？

このパターンは、

[左の肩甲骨の下の痛みの原因は残業続きで…？](#)

[左肩の痛みで腕が上がらない原因は飲酒後のラーメン？](#)

こちらの記事にも書いているものと、ほぼ同じ状態だと感じます。

なぜ、病院の検査では、異常が診られないのでしょうか？

それは、病院の検査は、病気を診つけるものであって、異常を理解するものではありません。

例えば、ガンが発症していれば、ガンは病気なので、検査をすれば、〇〇癌と診断名が付きます。

しかし、疲れている状態で、検査しても、何も異常は診られません。

それは、

疲れという病気はない

からです。

さらに、疲れといっても、症状はまちまちですよ！

人によっては、

1. 眠い
2. だるい
3. 食欲低下
4. 足がむくむ
5. 風邪をひいてしまう
6. 眠れない

などなど、いろんな症状が人それぞれ違うわけです。

従って、眠いという症状の時に、病院で検査を受けて、疲れですね！

と、診断はできないわけです。

なぜなら、風邪薬や痛み止めを飲んでいて、眠くなっているだけの状態もあり得るからです！

疲れの定義というのは、なかなか難しいものです。

かたや、病名がついているものは、全て定義があります。

その定義の中に数値表記されているものは、血液検査などの数値を見ますし、映像で理解できるものであれば、レントゲンやCT、MRIなどの映像診断を行うわけです。

従って、病名がついていない状態で病院へ行っても、検査のしようがないし、当然病名もつかない。

いわゆる

異常なし

原因不明

という診断が下るだけなのです。

ところが、東洋医学では、

未病を治す

この言葉を聞いたことがあるかもしれません。

言葉の通り、病気ではないが、何かの症状がある場合には、その状態の時に治してしまえば、病気になりませんよ！

という考えを持っています。

そして、東洋医学は西洋医学の病気と同様、内臓を主体に診ていくわけです。

そのため、東洋医学で言う内臓名を患者さんに伝えると、その内臓の病気をイメージしてしまいます。

けれど、先ほど伝えたように、

東洋医学は、病気になる前の内臓異常を感知する医学です。

従って、東洋医学の先生に内臓の異常を伝えられても、即

病気ということではないわけです。

当然、病院の検査をする前に、東洋医学を受診した場合には、病気が発症している場合があります。

その場合は、速やかに病院へ行った方が、治りが早いことの方が多いわけです。

このように、内臓の病気は、西洋医学へ。

内臓の異常（機能異常）に関しては、東洋医学へ。

という流れを知っておくと便利なわけです。

さて、ずいぶん遠回りをしてしまいましたが、今回の悩み相談を回答をします。

これまでの記事を読んできた人は、十二分に理解できた
と思いますが、読まなかった人に対して、回答します。

答えは、

腓臓の疲れ

これが、私の答えです。

あくまでも私の見解と考えてください。

なぜか？

それは、この方が証明しています。

これまでに、漢方や鍼灸を受けていると書いてあります。

要は、他の東洋医学の先生は、この診方をしないということが理解できます。

ですので、私の診方を信じるか、他の診方を探すか？

それは、あなたの自由です。

どこの先生に診てもらっても、治ればいい。

私は、そう思っています。

私のところで治るのも、他の先生のところで治るのも、私にとっては、どちらでも、その患者さんが、治ったのであれば、

心底良かった！！

と、思うだけです。

そのために、このような情報発信をしているのですから。

この方は、自ら膵臓を傷めるような食習慣を持っています。

炭水化物だらけの食習慣が、膵臓を傷めます。

嘘だと思いながらも、糖質の量を減らしていきましょう。

完全に抜くのダメです。

なぜなら、日本人は、炭水化物によって生き残ってきた民族だからです。

しかし、かつては、飢餓状態をしのぐために、炭水化物を

食べて生き残っていました。

けれど、今は、有り余っている食の中で、特別飢えているわけでもないのに、好きなだけ炭水化物を取っています。

当然、取り過ぎになってしまうわけです。

何でも過ぎてしまう結果は、異常が起こるだけです。

適度に行きましょう。

❖ 8 : 左の肩甲骨の下の痛みの原因は残業 続きで…？

この2か月ぐらい、仕事が異常なほど忙しく、ほとんど休みがないような状況。

気が付くと、左側の肩甲骨の下が痛くなっていた。

そして、いつか痛みがひくものと思い、ほっておいたら、左肩を上げるのもつらくなったということで来院した、50代の女性。

まず、表情から見るからに睡眠不足は明らか。

毎日、遅くまで残業があるらしく、ほとんど睡眠時間を取れていないらしい。

うつ伏せに寝てもらい、背中をチェックした途端。

「甘い物や炭水化物を取りすぎていたりしませんか？」

と、唐突に聞いてみた。

すると、

「毎日残業続きなので、疲れた時に、チョコレートを取ることが多くなっていました。」

「であれば、そのチョコレートが、この肩の痛みの原因です
すね！」

と、言いながら、背中から脇にかけて、お灸をし始め、脇の部分が、しっかりしてきたことを確認後、左を上にして

横向きに寝てもらい、さらに左脇からお腹にかけてのお灸を行った。

最後に、少しだけ、肩甲骨にお灸を行い終了。

立ち上がってもらい、腕を動かしてもらおうと、まったく痛みがなく動きもいたって普通になっていた。

脇の痛みとチョコレートの関係

なぜ、このような治療内容で、左の脇の痛みが改善されたのか？

それは、膵臓がポイントなんです。

うつ伏せで、背中を触った段階で、膵臓周辺に異常なむく

みを発見しました。

そして、このようなむくみがある場合には、腓臓を使った証拠と捉えられるわけなんです。

腓臓が一番絡んでくることは、糖質の問題。

この患者さんは、仕事が忙しく、毎日遅くまで残業していたということで、アルコールは省き、甘い物と炭水化物に焦点を絞り、尋ねてみたわけです。

そして、原因が、チョコレート（砂糖）を取りすぎたことによる腓臓の疲れということが、わかったことで、腓臓の疲れを取り除くためのお灸治療に集中して、効果が得られたという流れになるわけです。

ここからは、私独特の身体の診方になるわけですが、脾臓は肝臓と同類の臓器という区別をしていることから、肝臓の異常は、身体の側面に異常が出るというものがあります。

肝臓が悪いと身体の右側に、脾臓が悪いと身体の左側に、症状が出るという特徴があるため、今回の症状を、早めに特定することができたということになります。

❖ 9 : 左肩の痛みで腕が上がらない原因は 飲酒後のラーメン？

エコノミー症候群により、左脚全体にしびれがあり、キューアハウスへ通院されている患者さん。

最近、左腕が肩の痛みで上がらないという。

うつ伏せで、身体全体を診てみると、左肩甲骨の固さが若干ある程度。

腕が上がらないほどの肩の問題はなさそう。

となれば、首の問題が考えられる。

以前、奥さんがいびきを気にされていたこともあり、また

首の問題が出ているのか？

と思い、確認するが、首の問題もそれほど感じられない。

となると、始めの触診時に、真っ先に感じられた、左脇腹のむくみが原因であるだろうと思い、

「最近、糖質を取りすぎてませんか？」

と聞いてみた。

すると、少し間を置き

「もしかしたら、最近、酒を飲む機会が多くて、週5位で飲んだ後にラーメンを食べに行ってることですかね？」

ビンゴ！！

これで、原因はつかめました。

ここから、うつ伏せ、左側を上にした横向き、そして仰向けで、

膈臓の疲れを取り除くためのお灸

を行いました。

なぜ、肩ではなく膈臓なのか？

膈臓という臓器は、左の肋骨の下付近にある臓器です。

そして、このブログで何度も出ている

むくみ。

この

むくみがあるところに疲れあり。

ということから、左の肋骨下部に大量のむくみがあり、しかも、膵臓の機能である体内の糖分を安定化させる機能を考え。

糖分の過剰摂取があり、膵臓付近に大量のむくみが出ている。

ということから、膵臓の疲れは、理解できると思います。

(理解できなければ、質問してくださいね！)

そして、ここからが東洋医学的な診方になるのですが、私は、肝臓と膵臓を同類と捉えています。

そして、肝臓は、身体の側面の問題を出す臓器とされています。

さらに、臓器の位置からも、

**肝臓の影響が出た場合には右側に
膵臓に影響が出た場合には左側に**

症状を表すことが多いことがわかってきました。

このようなことから、今回の患者さんの左肩の問題。

そして、糖質過剰摂取による膵臓の疲れ。

さらに、腓臓付近のむくみ。

これらを正すために、まず行ったのが、腓臓の疲れを改善すること。

そのために、腓臓に集中的にお灸を行いました。

その結果、まったく肩の痛みがなくなり、どのように肩を回しても、引っ掛かり感すら出なくなりました。

ここまでに、肩に関しては、肩甲骨の固さが緩んでいるかどうかを確認するために軽く触った程度で、治療らしい治療は一切行っていません。

これが、身体の面白いところですね！

❖ 10 : 背中が腫れているのかむくみのか 原因は？

背中の中のむくみ？腫れ？

それとも猫背？

このような悩み相談が来ています。

内容は、

————— ここから —————

初めまして。

主人の父なんです、背中がとっても腫れてるんです。

むくんでいるというのか。。。

でも、猫背のなりかけのような。

肩甲骨から下で胃の裏側位と思うのですが、かなり広範囲で山のようになっています。

肺関係が悪いのか、肝臓が悪いのか？

血圧も140ですし、糖尿もわずらっています。

もくもくとよく働くお父さんです。

とっても心配なのですが。

————— ここまで —————

この度は、キュアハウスの悩み相談をご利用いただきありがとうございます。
ありがとうございます。

今回は、背中の中の腫れということですよ。

場所が右に偏っているのか？左に偏っているのか？によっても違いが出ますが、糖尿病もあるということですので、脂肪肝になっているのでは？と感じます。

脂肪肝の特徴は、肝臓の領域を覆っている肋骨が、肝臓の周りに脂肪がつくとともに、盛り上がっていくことで、明らかに肩甲骨の下側が腫れているように見えるようになります。

ただ、この背中に痛みがあるかということ、そうでもない場合があります。

まずは、病院で診てもらい、脂肪肝の診断が出れば、ほぼ間違いはないと思います。

もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、
全102ページ、販売価格1,980円

あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを**無料でプレゼント**させていただいています。
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★痛みや症状などの悩みの原因や改善方法を無料で知ることができるメールマガジン：「キュアハウスの悩み改善徹底基礎講座」

<http://curehouse36.xsrv.jp/kouza/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

キュアハウス鍼灸治療院
院長 中村幸生